環境未来都市 北九州市

● 北九州市　中小企業支援情報 ●　Ｖｏｌ．３０８（毎月１日発行）

ネットワーク北九州

2013．8

NETWORK KITAKYUSHU

北九州オンリーワン企業 kitakyushu only one company 2013

第3回認定式・記念講演会を開催

去る７月８日、北九州イノベーションギャラリーにおいて、第３回北九州オンリーワン企業認定式・記念講演会が開催されました。国内外へオンリーワンの製品や技術、サービスを提供する中小企業を北九州市がオンリーワン企業に認定し、市の看板企業として情報発信や販路開拓を支援していくものです。認定式には約１３０名の企業経営者や市民等の参加がありました。

認定式では、北橋市長から認定企業６社の代表者へ、認定証が手渡されました。そして、市長あいさつに続き、認定企業によるプレゼンテーションが行われました。

〈前列右から〉桑原電工㈱ 野田社長、シャボン玉石けん㈱ 森田社長、宝石・めがねのヨシダ 吉田社長
〈後列右から〉西田産業経済局長、楽しい㈱ 松尾社長、㈲ふく太郎本部 古川社長、㈱シノハラ製作所 篠原社長、北橋市長

＜大賞＞

■桑原電工株式会社
電動機・発電機の材料調達から製作、修理までの一貫したトータルソリューション提供

■シャボン玉石けん株式会社
無添加石けんの製造

■宝石・めがねのヨシダ
めがね、時計、補聴器、宝石の販売に関するおもてなしサービス

＜特別賞＞

■株式会社シノハラ製作所
スライド式ソファベッド

■楽しい株式会社
北九州エコタウン発
廃棄物とバイオマスの新資源化システム

■有限会社ふく太郎本部
ふぐ業界初のＨＡＣＣＰ認定工場

《記念講演会》「感動創造企業に学ぶ」法政大学大学院教授　坂本　光司　氏

感動創造企業とはどんな企業なのか、そして今の時代だからこそ求められる顧客も社員も幸せにする経営とは何か。

企業経営とは、会社にかかわる全ての人を永遠に幸せにするものであり、会社とは、その場所のことである。

企業経営で一番大切なのは、社員とその家族であり、社員とその家族の幸せを念じるのが、正しい経営である。顧客を感動させるのは社員だから、社員の幸せを一番に考えることが大切である。

感動創造企業とは、お客様が感動するような商品を作る、お客様が感動するようなサービスを行う、お客様が感動するような経営を行う、そのような企業である。

その共通的特徴は、次の７項目に整理できる。

【感動創造企業の共通的特徴】
１）社員の幸せを第一に考える
２）障害者雇用に尽力する
３）高齢者を積極的に活用する
４）女性を重要な戦力に変える
５）仕入先とwin-winの関係になる
６）顧客に対して感動を与える
７）地域社会との絆を大切にする

①定年がなく高齢者の経験を生かし南部煎餅を製造する小松製菓（岩手県二戸市）②披露宴の招待客一人一人の好みに合わせ提供する料理を変えるフレンチレストラン ル・クロ（大阪市）③経営理念に親孝行を掲げ、すべての人の幸せを大事にする家族レストラン坂東太郎（茨城県古河市）などは、感動創造企業の代表である。

【問い合わせ先】 北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：松林、鎌田 TEL:093-873-1433

発行／（公財）北九州産業学術推進機構（FAIS）中小企業支援センター　TEL:093-873-1430　FAX:093-873-1450　http://www.ktc.ksrp.or.jp
〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町２番１号(JR 九州工大前駅北側、北九州テクノセンタービル１階)

◇ 2013年版中小企業白書　ダイジェスト ◇　後編
自己変革を遂げて躍動する中小企業・小規模事業者を紹介します！

先月号に続き、中小企業白書の第2部「自己変革を遂げて躍動する中小企業・小規模事業者」の中から、『次世代への引継ぎ（事業承継）』、『情報技術の活用』について、分析結果及び事例等を紹介します。

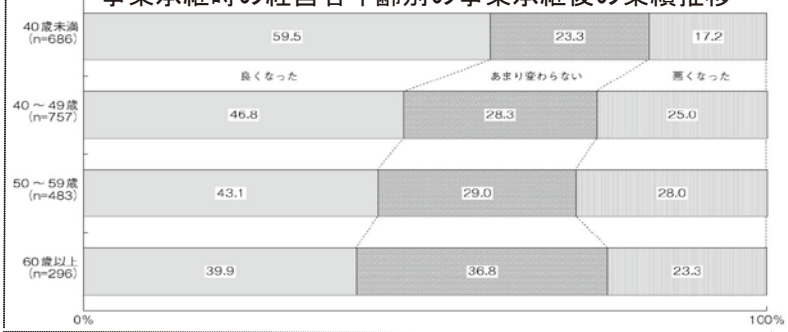
詳細は、中小企業庁のHP　http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/130426hakusyo.html をご覧ください。

次世代への引継ぎ　～事業継承を更なる成長の好機と捉え、次世代に経営を託していくことが期待されている～

☑ 多くの経営者が考える最適な事業承継の平均年齢が 43.7 歳である一方で、実際に承継した平均年齢は 50.9 歳となっており、総じて事業承継が遅れていると推測される。

☑ 事業承継時の経営者の年齢が若いほど、承継後の業績が向上する傾向が見られる。（全ての年齢層において、「良くなった」と回答する割合が「悪くなった」と回答する割合を上回っている。）

事業承継時の経営者年齢別の事業承継後の業績推移



＜事例2－3－2＞

早い時期から経営を任された現社長が、新事業を展開して好業績を上げている企業

愛知県新城市の本多プラス株式会社（従業員198名、資本金1億円）は、プラスチック・ブロー成形品の企画・製造・販売等を行う企業である。同社は、熱した樹脂をチューブ状に押し出して金型で挟み、圧縮空気を吹き込んで中空を形成する、ブロー成形をコア技術としている。

同社の本多孝充社長は、大学卒業後、英国で MBA を取得し、1997年、28歳のときに、経営企画室長兼営業本部長として、同社に入社した。先代社長である本多克弘会長に経営手腕を認められ、入社 4年目には専務に就任、以後経営の実権を任され、2011年に社長に就任した。本多会長は、「一代一事業であり、先代を超えることが後継者の仕事。経営は、感性や気力、体力に優れる若者の方が向いており、息子には自分の思うとおりにやって欲しかった。」と語る。

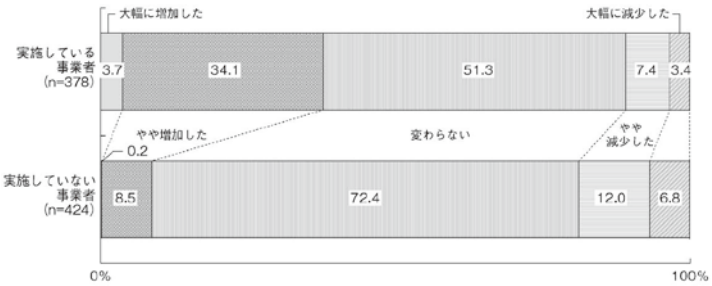
本多社長は、「他人のやらないことをやる」という同社の経営理念に基づき、ブロー成形技術の更なる可能性を追求するとともに、デザインから始まるものづくりを志向して、製品の高付加価値化を図っている。従来は、修正液のボトル等の文具製品を主力としていたが、本多社長の入社以降、化粧品容器、医薬品容器等新たな分野を開拓し、工場の新設を実現している。また、デザイン部門を設けて、デザイン力、提案力を強化したことにより、取引先の要望やニーズを的確に捉え、多様なオーダーメイド品に対応することが可能となっている。

こうした本多社長の取組によって、売上、従業員数は専務就任時から現在までに約2倍になった。また、同社は、女性活用に積極的であり、女性の新卒採用や管理職昇進を増やしてきている。女性従業員比率は約5割に上っており、地域の子育て世代の女性への、就業機会の提供にも貢献しているという。

情報技術の活用　～ITの導入・活用の進展により、新たな活力を生み出すことが期待される～

☑ 2007 年調査と比べ、2012 年調査では IT（情報技術）の導入が着実に進んでいるものの、自社ホームページの開設等、小規模事業者の IT 導入が規模の大きい企業に比べて進んでいない。

小規模事業者の自社ホームページの開設の有無と販売先数の変化



☑ IT を導入していない理由として、「コスト負担ができない」ことに加え、「導入の効果がわからない」、「IT を導入できる人材がいない」とする企業が多い。

IT活用促進資金　～コスト負担への対応～

㈱日本政策金融公庫が、IT を導入するために必要な設備等の取得に係る設備資金、また、ソフトウェアの取得・制作やデジタルコンテンツの制作、上映等に係る運転資金の融資を行っている。

○貸付対象：中小企業者
○貸付使途：IT やデジタルコンテンツ技術の活用等、情報化投資に必要な設備、建物、運転資金　等
○貸付利率：特別利率を設定（基準利率の適用の場合有）
○貸付期間：設備資金 15 年以内、運転資金 5 年以内　等
○貸付限度額：中小企業事業 7 億 2,000 万円　等

有限会社ゼムケンサービス代表取締役
籠田(こもりた)淳子氏 が内閣府の「女性のチャレンジ賞」を受賞！

内閣府が主催する平成 25 年度「女性のチャレンジ賞」を、北九州市小倉北区片野の有限会社ゼムケンサービス代表取締役籠田(こもりた)淳子氏が受賞しました。 表彰式は、去る平成 25 年 6 月 28 日（金）に総理大臣官邸にて開催され、森まさこ内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当）から授与されました。

受賞理由（活動内容）

男性が多数を占める建設業において、「女性だからできる経営」を実践

◇ワークシェアリングの導入

新卒社員から育児中、子育てが一段落した社員まで、多様なライフステージにある女性社員が各自の事情に応じて働けるよう導入。

◇「ＪＫＤＴ女性建築デザインチームによるまちづくりへの挑戦」という新たなプロジェクトを展開

全国的に建設投資額が低迷する中、女性社員が多いことを「弱み」から「強み」へと転換するため、女性の視点をデザインや設計に活かし、「家づくり」「店づくり」「まちづくり」そして「幸せづくり」につなげていくプロジェクト。

自社のみならず、全国の有志とともに進めている。

左から森まさこ大臣、籠田淳子氏

【女性のチャレンジ賞】（主催：内閣府）

男女共同参画社会の形成の促進にあたり、ＮＰＯ法人での活動や地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ等を顕彰します。

チャレンジの身近なモデル等を示すことによって、男女共同参画の実現のための機運を高めることを目的として、平成１６年度から実施されています。

今年度の受賞者は、９個人１団体（女性のチャレンジ賞５名、特別部門賞４名、女性のチャレンジ支援賞１団体）です。

【問い合わせ先】 北九州市子ども家庭局男女共同参画推進課　担当：萩原、川口　TEL：093-582-2405

中途採用の予定のある企業様へ　～最適な人材を探してみませんか～

北九州市では、若年求職者や未就労の女性を対象に、基本的なビジネスマナーや就職活動対策、企業見学・就労体験等を盛り込むことによって仕事の魅力を伝え、就業へとつなげるマッチング支援事業を実施します。

就労体験後には、双方の希望により採用面接を行っていただきます。

中途採用の予定のある企業様は、新たな人材発掘の機会として、ぜひ同事業をご活用ください。

【若年求職者マッチング支援事業】

●対象者： おおむね40歳までの求職者

●対象企業： 中途採用の予定があり、企業見学（半日程度）や最大20日間の就労体験にご協力をいただける製造業及び附帯する業種、サービス業の企業

●実施期間

企業見学　平成 25 年 12 月 2 日（月）～13 日（金）

就労体験　平成 26 年 1 月中旬　～　2 月 28 日（金）

※上記期間の間で、半日程度の企業見学、最長20日間の就労体験

●雇用形態： 正社員

【女性のための再スタート応援セミナー】

●対象者： 20～40歳程度の未就労の女性

●対象企業： 中途採用の予定があり、企業見学（半日程度）や最大5日間の就労体験にご協力をいただける企業

●実施期間

企業見学　平成 25 年 11 月 13 日（水）・14 日（木）

就労体験　平成 25 年 12 月

※上記期間の間で、企業見学（3社程度）、最長5日間（1 日あたり 5 時間）の就労体験(10 社程度)

●雇用形態：正規・非正規問わず

【問い合わせ先】 北九州市産業経済局雇用政策課　担当：高橋、大庭　TEL：093-582-2419

「北九州未来ビジネスプランコンテスト 2013」を開催
北九州市で創業・第二創業を目指すアイデアを募集します！！

北九州市では、北九州市新成長戦略の一環として、新たな事業にチャレンジする事業者を発掘するとともに、優秀なビジネスプランの事業化を図るため、北九州市制５０周年記念事業として「北九州未来ビジネスプランコンテスト２０１３」を開催します。

時代や地域のニーズに応えた新しいビジネスを生み出し、新たな雇用の創出につなげます。

１　募集テーマ等

部門	募集テーマ	対象者
創業・ベンチャー部門	創意工夫した新たな技術やサービスにより新市場を開拓し、雇用を創出するビジネスプラン	市内で創業予定の者、または創業後５年未満の中小企業者
第二創業部門	既存事業の業態転換や新たな事業分野への展開を図るビジネスプラン	市内で新規事業に着手予定の創業後５年以上の中小企業者
学生ベンチャー部門	ユニークなアイデアにより、新たな市場を切り拓く可能性に溢れるビジネスプラン	近い将来、市内で創業予定の学生

２　応募期間　　平成２５年７月１６日（火）～９月３０日（月）

３　表彰区分　　最優秀賞１名、優秀賞２名、奨励賞２名

受賞者には、インキュベーション施設への優先入居、事業化に向けた専門家の無料派遣、先輩企業家とのマッチング、事業化における事業費助成（最優秀賞50万円、優秀賞20万円、奨励賞５万円を上限）等の特典が与えられます。

４　決定時期等　平成２５年１１月頃に審査会を行い、入賞者の決定を行います。また、平成２６年２月頃に、「ビジネスプラン発表会」を開催します。

５　応募方法　「北九州未来ビジネスプランコンテスト2013HP（http://www.k-twc.gr.jp/~kitakyumirai/）」から応募申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記まで郵送又は持参ください。

【事務局】〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号 AIM ビル6階　北九州テレワークセンター内
公益財団法人北九州産業学術推進機構ベンチャー支援部（TEL093-513-5300、FAX093-513-5323）

ビジネスプランコンテストのプレセミナーとして「起業ビジネスプラン作成セミナー」（2 日間コース）を開催します！！

１　日時　8 月 31 日（土）、9 月 7 日（土）各 10 時～17 時
２　内容　ビジネスプラン作成のポイント等
３　受講料　3,000 円
※申込方法等詳細は、
（公財）北九州産業学術推進機構中小企業支援センター
ＨＰ（http://www.ktc.ksrp.or.jp/）をご覧ください。

創業支援のため、「小規模事業者活性化補助金」（中小企業庁）の公募も始まっています!!

１　補助内容　小規模企業者が行う新商品・新サービスの開発、販路開拓等に要する経費の一部を補助（最大 200 万円（補助率 2/3））
２　公募期間　平成 25 年 8 月 16 日（金）まで
※申込方法等詳細は、小規模事業者活性化補助金事務局ＨＰ（http://www.shokibo-kassei.jp/）をご覧ください。

【問い合わせ先】北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：古賀、床田　　TEL:093-873-1433

“滋味五州”（じみごしゅう）通信
北九州市 食品ブランド化プロジェクト

今回は、大正２年の創業で、八幡東区日の出１丁目で醤油・味噌・ポン酢・ドレッシングなどを製造している、ごとう醤油株式会社の取組みを紹介します。

北九州を代表する素材である、若松トマト、合馬たけのこ、豊前海一粒かきなどを積極的に使用し、食品添加物完全無添加というこだわりをもって調味料を製造しています。

五嶋社長から「新商品を開発するにあたり、高付加価値商品とは具体的にどういうものか、女性の自由な発想や意見がほしい」という要請を受けました。

そこで、6月24日中小企業支援センター齊藤マネージャーの主導でFAIS職員など女性6名が集まり、「10，000円で売れる味噌とは、どのような味噌か？」など、具体例を挙げて、女子脳を生かしたアイデア出しを行いました。

女性フリーディスカッションの様子

【問い合わせ先】北九州市産業経済局中小企業振興課　担当：松林、鎌田 TEL：093-873-1433